

⑤ 次の1～5は、作家とその代表的な文学作品の解説である。それぞれの組合せとして適切でないものは、次の1～5のうちどれか。

- 1 梶井基次郎 : えないの知れない不吉な塊に悩まされる「私」の不安や焦燥を消失させる偉業の確かな存在感を描いた。
- 2 武者小路実篤 : 飄蕩の魅力にとりつかれた少年に対する周囲の態度を描き、子どもの才能に無理解なおとを描いた。
- 3 井伏鱒二 : 岩屋から出られなくなった山椒魚の姿をユーモラスに描く中に、山椒魚に託した人間の孤独や愚かさを描いた。
- 4 遠藤周作 : ガンジス河辺で、ヒンズー教徒の中に入って、魂の救済を折りつつ、死体を運ぶ司祭の姿を通して、信仰と魂の救済との関わりを描いた。
- 5 中島 敏 : 中国の怪奇伝『人虎伝』に材をとって、知識人の自意識の痛みをテーマに、強い自尊心をもつ芸術家の苦悩を描いた。

⑥ A～Eの出来事を古い順に並べたとき、2番目と4番目になるものの組み合わせとして適切なものは、下の1～5のうちどれか。

A	B	C
辛亥革命	フランス革命	キューバ革命
D ビューリタタン革命	E ロシア革命	

- 1 2番目がA, 4番目がC
- 2 2番目がA, 4番目がE
- 3 2番目がB, 4番目がC
- 4 2番目がB, 4番目がE
- 5 2番目がD, 4番目がE

⑦ 自然や社会における現象について述べた文として適切でないのは、次の1～5のうちどれか。

- 1 エルニーニョ現象は、ペルーとエクアドルの沿岸から南東太平洋の赤道海域にかけて、海面水温が、平年よりも上昇する現象である。
- 2 Jカーブ現象は、地方から大都市地域へ移動した者が、生まれ故郷に戻らず、周辺の中規模都市に移動し、定住する現象である。
- 3 ヒートアイランド現象は、多量のエネルギー消費による人工熱のため、都市部が郊外に比べて気温が高くなる現象である。
- 4 ドーナツ現象は、都市周辺部の地価の安い場所を求めて、住宅や都市施設が虫食い状に郊外へ広がっていく現象である。
- 5 凍上現象は、寒さの厳しいときに、表面の凍結層の下の上層中に含まれる水分が凍結し、表面の凍結層が持ち上げられる現象である。

⑧ 自然科学のさまざまな事物や現象について述べた文として適切でないものは、次の1～5のうちどれか。

- 1 地球を回る人工衛星がすぐに落ちてこないのは、円運動をしている人工衛星にはたらく遠心力と地球の引力が釣り合っているためである。
- 2 フェールに入って体が軽くなったと感じるのは、人間の体が押しつけた体積の水の重さに等しい浮力を受けるからである。
- 3 青色リトマス紙は、アンモニアの水溶液をつけると赤色に変わる。
- 4 ヒトの血液中には赤血球に含まれるヘモグロビンというタンパク質は、肺で酸素と結合し、体の各部へ酸素を運んでいる。
- 5 太陽において、コロナの一部が突然熱せられ、強力な電磁波やX線を出す現象をフレアという。